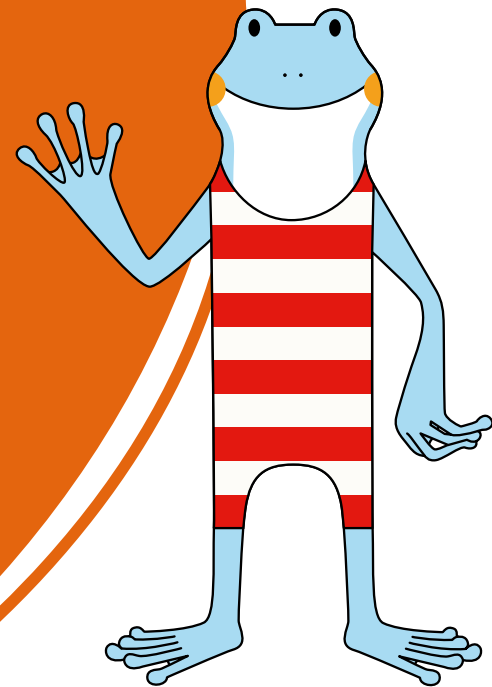


TOKYO OPEN WATER SWIMMING

大島2022
監督者会議

公益財団法人東京都水泳協会
OWS委員会



1. 監督者会議

日 時 : 2022年7月2日 (土) 16:00～
場 所 : 開発総合センター 2F 大集会室

事前に追加要項 (6月15日公開) および本資料を
HPからダウンロードし確認しておくこと。

2. 監督者会議次第

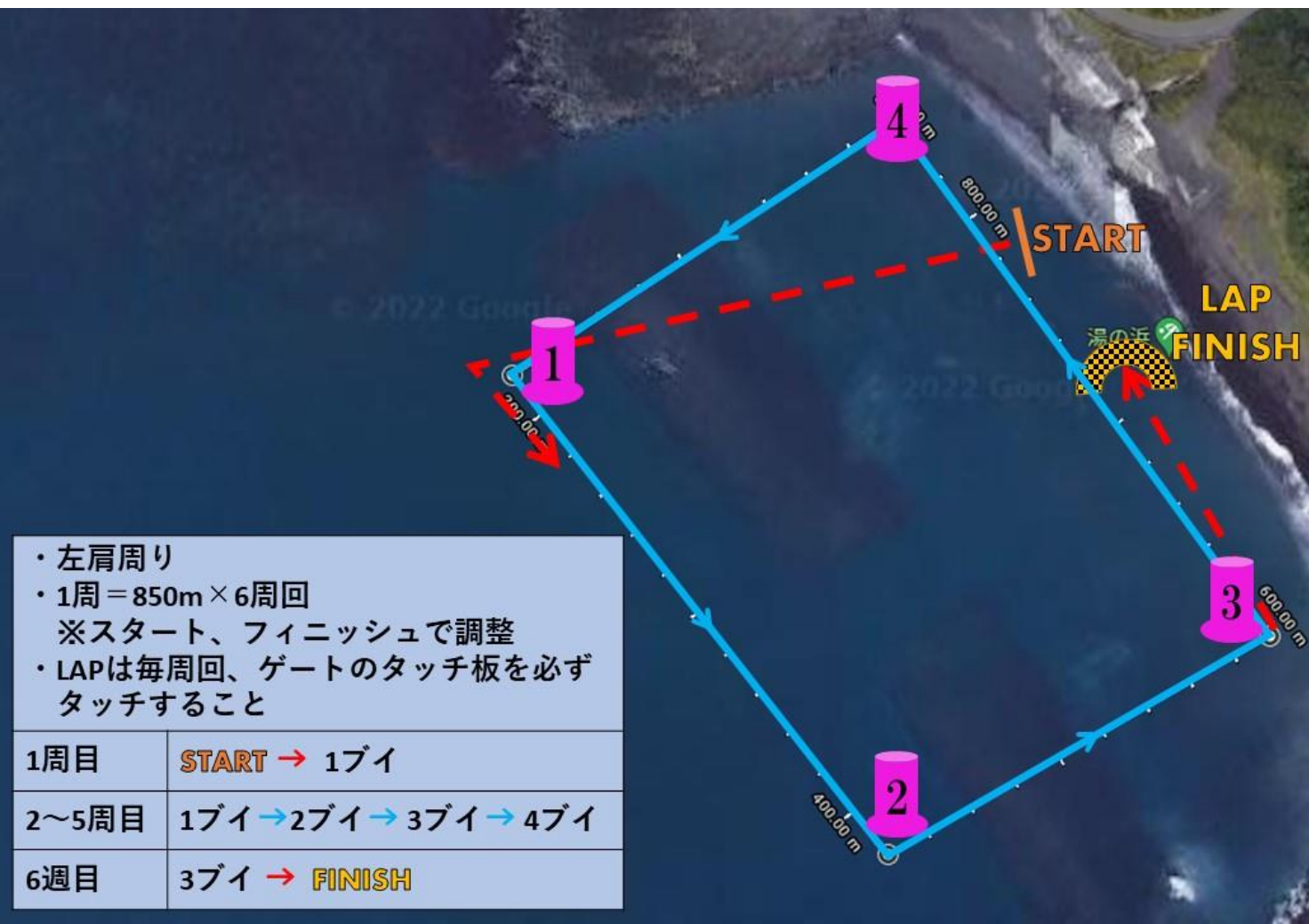
挨拶 (公財) 東京都水泳協会 会長 北島 康介

大会概要等 (公財) 東京都水泳協会
本大会審判長 審判長 勝又 大和

代表選考会 (公財) 東京都水泳協会
OWS委員会 委員長 原 怜来

質疑応答

3. 競技について



- ・左肩周り
- ・1周 = 850m × 6周回
※スタート、フィニッシュで調整
- ・LAPは毎周回、ゲートのタッチ板を必ずタッチすること

1周目	START → 1ブイ
2～5周目	1ブイ → 2ブイ → 3ブイ → 4ブイ
6週目	3ブイ → FINISH

- ・本競技は「（公財）日本水泳連盟オープンウォータースイミング競技規則」（以下「OWS競技規則」）に則り実施する。（一部ローカルルールを適用する）
- ・反時計周りで、常にブイの右側を泳ぐ
- ・故意に他の選手の不利益となる泳ぎをしない
- ・違反した者にはイエローまたはレッドカード
- ・LAP計測の為、毎周回フィニッシュゲートにタッチすること

4. 大会当日

2022年7月3日（日）

6 : 15

大会可否判断HP掲載

6 : 45

W-Up開始（指定エリアのみ）

6 : 45～7 : 15

選手受付

7 : 30

W-Up終了

7 : 40

選手招集

8 : 00

男子スタート

8 : 05

女子スタート

10 : 00

表彰式

5. 会場図①



5. 会場図②





6. 大会当日 選手受付

- ・受付にて消毒と検温を済ませ、「健康管理表」を未提出の者は1人1枚提出する。
- ・選手受付の際は「健康チェックシート」を提出、競技で着用する水着・スィムキャップ、ゴーグルのチェック、手足の爪チェック、装飾品（ジュエリー類）チェックをおこなう。
※注意：選手は「健康管理表」とは別に「健康チェックシート」も提出すること。
- ・「健康管理表」「健康チェックシート」はHPからダウンロードすること。
- ・ナンバリングシールの貼付は大会スタッフが行う。
- ・水着チェックの際は、着用でも持参でも構わない。
Finaマークが見えるように提示すること。（※マスターズの部の参加者は除く）
- ・手足の爪の手入れをし、装飾品（ジュエリー類）を取り外してから選手受付をおこなうこと。

7. 選手招集

- ・ 招集所に 7 : 4 0 に集合すること。
- ・ 審判長からの最終ブリーフィング後、荷物を招集所に置き、競技役員の指示に従いビーチへ移動する。その際、マスクは外して各自で保管すること。
- ・ 手荷物は全て招集所にて管理。
- ・ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスクをはずしたあとに、選手同士やコーチとの会話は控えること。



8. スタート

- ・ スタートラインは、水面に張られたロープにより示される。
- ・ 選手はスタートライン（ロープ）の前に位置し、後ろ手（片手）でロープを握り、フローティングで待機する。
- ・ 審判長のホイッスルの後、スターターのホーン（＝フラッグの振り下ろし）によりスタートする。
- ・ LAP計測の為、毎周回フィニッシュゲートにタッチすること

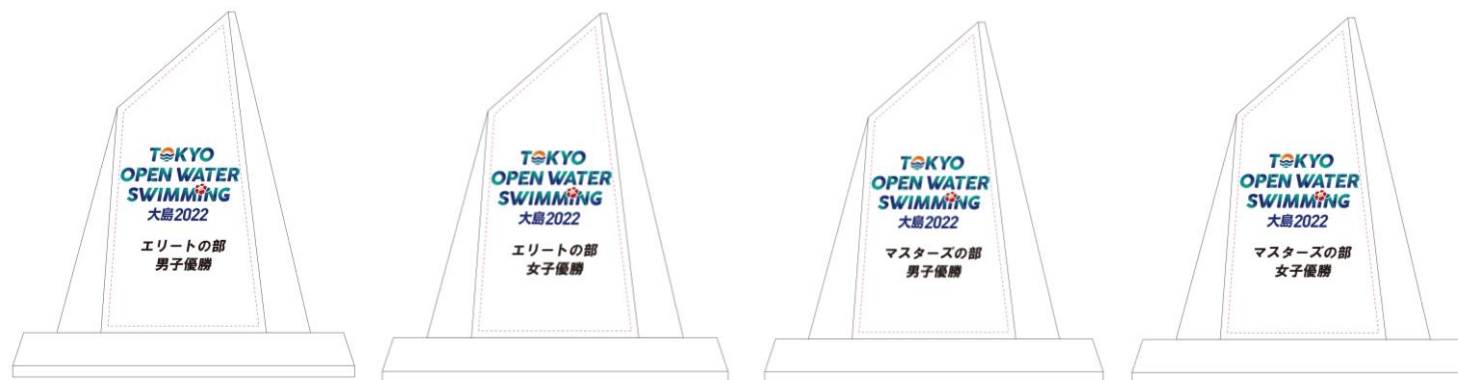


9. フィニッシュおよび途中退水

- ・ゴールタッチ板にタッチした時点でフィニッシュとする。（手のひらで確実にタッチすること）
- ・タッチ板にタッチしなかった場合は、フィニッシュと認められない。
- ・ゴール後、競技役員の指示に従ってすみやかに岸側へ移動し、コースから外れること
- ・呼吸が整い次第、マスクを着用すること。（新しいマスクはゴール後に配布する）
- ・競技途中で退水（リタイア）をした場合は、必ず救護テントにて、医師の診察を受けること。

10. 表彰

- ・ 対象 エリートの一部 男女各3位までの入賞者
 マスターズの一部 男女各3位までの入賞者
- ・ 場所 大会本部
- ・ 時間 10時00分（予定）
- ・ 持ち物 選手ADカード





1 1 . 荒天時の対応

- ・ 競技実施については、天候状況により競技時間・距離・コースを変更して行うことがある。
- ・ 競技実施の可否および競技方法の変更等については、当日朝 6 : 1 5 を目処に、（公財）東京都水泳協会ホームページ内の「更新情報」欄にて通知する。
- ・ 上記以前に開催が難しいと判断した場合も、同じく「更新情報」欄にて通知する。



12. 競技補足

・ OWS 競技の水着

OWS 競技における水着、ウェットスーツに関する規則は、FINA 規則に準拠し次のとおりとする。

- 1 OWS 競技会において、競技者は水着を1着（2ピース水着を含む）のみ着用することが許される。追加となるようなアームバンド、レッグバンド等は水着としては認められない。すべての水着（ウェットスーツを含む）は FINA が定めた規則および必要条件に準拠しなければならない。
- 2 OWS 競技会において水温が20℃ある場合、男性、女性、両者の水着は、首を覆ったり、肩を超えたり、足首を超えてはならない。OWS 競技用水着のその他の形状詳細については競泳競技会の条件に準拠する。
- 3 水温が18℃以上20℃未満の OWS 競技会においては、水着もしくはウェットスーツを着用できる。水温が18℃未満の場合は、ウェットスーツの着用を義務とする。

注：この規則における、ウェットスーツとは保温性のある素材を使った水着である。男女のウェットスーツは胴体、背中、肩、膝を完全に覆うこと。またこれらのウェットスーツは首、手首、足首を超えてはならない

（オープンウォータースイミング競技規則「付則」より）

※本大会は、マスターズの部出場者は海水温20℃以上ある場合でもウェットスーツ、ラッシュガードの着用を認める

- ・（公財）日本水泳連盟「水泳競技会において着用又は携行することができる水泳用品、用具のロゴマーク等についての取扱規定」に準ずる。
この基準はスイムキャップやゴーグルにも適用されるので、受付時に検査を受けること。

13. 安全について

- ・（公財）日本水泳連盟 「OWS 競技に関する安全対策ガイドライン」 に則り実施する
https://swim.or.jp/assets/files/pdf/pages/about/index/g_03.pdf
- ・本競技会は、（公財）日本ライフセービング協会から派遣されたライフセーバーが、海上で安全管理を行う。
- ・棄権の場合は、大会本部に申し出ること。
- ・途中棄権の場合は、ライフセーバーに申し出てその指示に従うこと。
- ・緊急時には競技役員、係員の指示に従い避難すること。
- ・競技中、伴走するライフセーバーに選手を先導する役割はない。なお、明らかなコースアウトと判断される場合には“善意の第三者”として方向修正等のアドバイスを行うことがある。
- ・選手選考を辞退する場合は、辞退届を大会当日の選手受付終了時間までに、大会本部へ提出すること。



14. 感染予防について

- ・感染症予防ガイドラインに従い大会運営する。
- ・大会会場内のみならず、往復の移動や日常生活においても感染症予防に努めること。
- ・ガイドラインに従わない場合、また大会関係者の指示に従わない場合は退場処分とする。
- ・会場では、泳ぐとき以外はマスクを着用すること。
- ・招集所でマスクを外しても良いが、社会的距離を保ち、会話は控える事。
- ・招集所ではずしたマスクは、服のポケットか袋に入れること。
- ・入場から退場時までの全ての場面で、人との距離をとって行動すること。
- ・レース終了後、十分な休憩をとり、マスクを着用してから移動すること。
- ・唾や痰を会場内で吐かないこと。
- ・食事は、人との距離を2 m以上保ち単独で取ること。
- ・会場までマスクの着用、人との距離、座席間の距離、車内換気、会話などに留意すること。

15. 国体選考について

- 公益財団法人東京都水泳協会 OWS委員長

原 怜来



15. 国体選考について

1. 国体オープンウォータースイミング競技出場を希望する選手の中で、2022 年国民体育大会オープンウォータースイミング選考対象大会（下記参照）成績を参考に判断する。

【選考対象大会】TOKYO OPEN WATER SWIMMING 大島 2022（2022年7月3日）5km

※選考対象大会が中止となった場合は「第26回館山OWSフェスティバル5km（2022年7月17日）」とする。

※選考対象大会が緊急中止となった場合は直前のラップゲートの順位を最終順位とする。

2. 選考は、東京都水泳協会選考委員会があたり、人数枠の範囲で選考する。

3. 参加有資格者は、2008 年 4 月 1 日以前に生まれた者。

15. 国体選考について

4. 大会規則に基づき、下記のどちらかを満たしている選手を選考の対象とする。

(1) 2022年4月1日以降の都道府県水泳連盟（協会）が承認した、公式競技会または公認競技会において、国体標準記録を突破した選手

＊国体標準記録（1/100秒までを対象とする）

男子1500m自由形〈長水路〉17分00秒00、もしくは〈短水路〉16分45秒00

女子800m自由形〈長水路〉9分40秒00、もしくは〈短水路〉9分30秒00

(2) 2021年4月1日以降、日本選手権、本連盟認定大会、国際大会において5km以上の競技に参加し完泳した選手

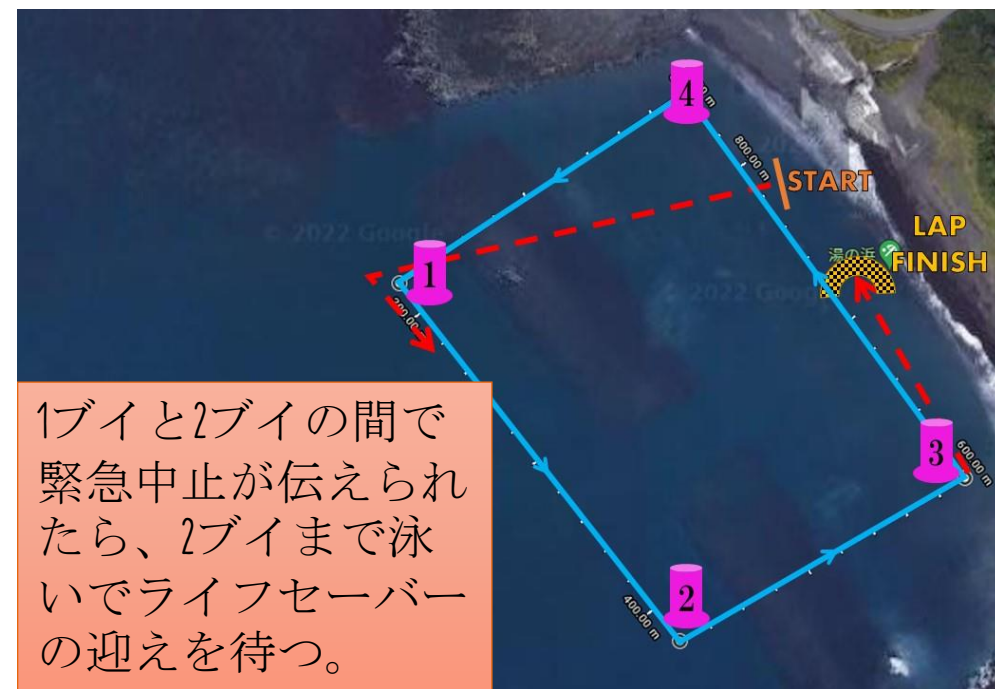
5. 編成方針（東京都水泳協会が決定する）に沿って、総合的な判断により選考する。

6. 編成人数は、最大2名（男子1名、女子1名）とする（選考日は未定）。

16. 緊急中止時について

緊急中止時は審判長より赤黄の旗で×を作ります。
また、拡声器のサイレンを鳴らします。
ライフセーバーより、直接、選手に緊急中止の旨が
伝えられます。

その場合、進行方向の一番
近いブイまで泳ぎ、ブイに
つかまって待っていただくよう
お願い致します。ライフセーバー
がジェットまたは動力船で迎えに
いきます。





17. 緊急中止時の結果の取扱いについて

緊急中止時の結果は、直前のラップゲートの順位を最終順位といたします。

国体選考もそれに準じて実施いたします。

18. 緊急避難経路（津波）

津波の場合、ライフセーバーや競技役員は率先避難者となります。

つばき小学校に各自向かうようお願いします。



18. 緊急避難経路（雷雨）

雷雨の場合、テントでの待機は危険です。

サンセットプール等の建物、もしくは自身の車の中に逃げるようお願い致します。





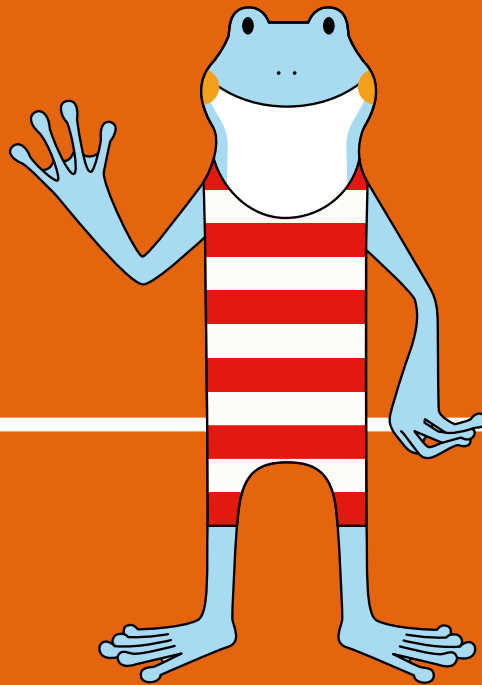
19. その他

- ・ こまめな水分補給を心掛けること。
- ・ ペットボトル、水筒などは専用のもので使用し、他者と共有しないこと
- ・ 貴重品は各団体の責任において管理すること。
- ・ 事故、怪我等の無いよう各団体において十分注意すること。
- ・ 会場内の設備、備品等を破損した場合は、所属団体の責任において弁償すること。

20. 質疑応答

• Q & A

ありがとうございました



Tokyo Swimming Association